

That's きつとす 平成 31 年 4 月

節目の年に～改元と開館30年～

いよいよ平成も残すところ後わずか。改元という時代の画期に再び立ち会うことができるとは、何とも感慨深いものがあります(年齢がばれてしまいますが…)。平成生まれが同僚となった時は驚きましたが、いよいよその次が現れるのかと思うと軽いめまいすら覚えます。中村草田男の俳句「降る雪や明治は遠くなりにはけり」はこんな心情から生まれたのでしょうか。

平成 2 年開館の当館は、平成生まれの平成育ち。今月でめでたく開館 30 年目となりました。この場を借りてあつく御礼を申し上げます。

当館は昭和の末から平成の始まりにかけて建設されました。昭和 63 年 5 月 26 日付で締結された当館の「建設工事請負契約書」には、完成予定日が「昭和 64 年 3 月 29 日」となっています。昭和は 64 年 1 月 7 日までですので存在しない日付なのですが、契約時点では昭和の終焉など分かるはずもありませんので、このような日付となりました。

元号をまたいでの建物完成後、約 1 年の準備期間を経て、開館は平成 2 年 4 月 20 日。開館記念として国指定重要文化財(木造軍荼利明王立像と雲版)を出陳する、今から考えれば驚くほどぜいたくな特別展が催されました。

改元そして開館 30 年目という大きな節目を迎える本年は、春に当館の歩みと平成を振り返る収蔵品展を、秋に記念の特別展を開催いたします。昨年のリニューアルに引き続いての大仕事とあって、館内には静かな緊張感がみなぎっています。

皆様の変わらぬご支援・ご協力を心よりお願いいたします。(引間)

